

現場学習 (産業現場等における実習)



目的

- (1) 福祉施設や職場における生活習慣を知るとともに、労働に対する意識が高まるようにする
- (2) 進路先選択や職場適性発見の手がかりを得るための機会とする(主に2年生段階)
- (3) 福祉施設や職場での適応能力を高め、進路決定につなげることができるようにする

対象生徒

高等部2・3年生生徒(卒業後の生活をイメージして取り組みます)

対象生徒

2週間(受け入れの都合等がある場合、御相談ください)

<令和7年度の予定> 実習期間中の土日は除きます。

第Ⅰ期 6月16日(月)～6月27日(金) 第Ⅱ期 10月20日(月)～10月31日(金)

現場実習を実施する大まかな流れ

実習前

受入依頼

- ・ 本校の進路指導担当が現場実習の受入れのお願いに伺います。
- ・ 期日等が決まりましたら、受入依頼書を持参いたします。

打ち合わせ

- ・ 事前に本人・保護者・本校職員と実習先担当者において、打ち合わせを行い、生徒の実態に応じて内容を決定していきます。
→ 日時は事前にお電話で調整させていただきます。
- ・ 実習内容や勤務時間等の詳細は、打ち合わせ書に沿って確認をさせていただきます。

事前学習

- 打ち合わせの内容を元に、生徒自身が、担任と一緒に現場実習に取り組む目標の設定をしたり、実習期間中における心得などを学習します。

実習中

実習開始

巡回指導

- 実習期間中、職員が訪問(巡回指導)させていただき、必要に応じて現場での指導支援を行います。
- その際、事後学習用として、写真などを撮らせていただきます(実習先の許可を頂いてから撮影します)。
- 実習中、何かありましたら、学校にご連絡ください。

実習後

評価票の作成

- ・ 実習先の方に、実習生の評価をお願いします。評価票は事前にお渡しさせていただきます。
- ・ 良い点のみならず、今後に向けての改善点や課題点なども教えてください。学校での学習、次の現場実習の参考にさせていただきます。

事後指導

- 評価票を元に、学校での学習活動の中で課題を設定し、取り組み、改善を図ります。

→ PDCAのサイクルで、生徒自身の課題改善と成長につなげていきます

【その他、現場実習に関して】

- ・ 実習に必要な経費(昼食代・交通費等)は実習生が全額負担し、報酬等は一切いただきません。
- ・ 事故・災害の場合、「日本スポーツ振興センター(学校で既に参加)」またはインターンシップ・ボランティア体験活動保険等(任意)の適用を受け対応しています。